

生徒指導だより「こころ」

平成28年5月12日(木)

NO. 4 文責 堀 晴昭

何より大切なものは命！何より尊いものは命！

前号でも自転車の乗り方については書いているところですが、**生徒の自転車転倒事故がなお続いております。**幸い命に関わるものではなかったのですが、いつ大きな事故につながるかわかりません。再度学校でも指導していきますが、ご家庭でも次の指導をよろしく願います。



- ①時間にゆとりをもって登校する。(家を遅く出ると、ついスピードを出し過ぎてしまう。)
- ②雨の日や下り坂はスピードを落として走行する。
- ③重い荷物は前かごには載せない。(重い荷物は後ろの荷台へ)
- ④ヘルメットのあごひもとタスキは確実に！

《一昨年度の山鹿市小中学生における事故事案》

- ①4月23日(水)午後6時頃 小学5年生女子
自転車で進行中、狭い市道のカーブ途中で、徐行中の対向してきた自動車と正面衝突し、車のボンネットに乗り、その後転落した。現場検証後、母親の車で山鹿地域医療センターに行き、診察及びCT検査を受けた。ヘルメットを着用していたため異常はなかった。
- ②4月30日(水)午後4時頃 中学2年生男子
自転車で帰宅途中、対向する軽自動車と接触しそうになり、避けた拍子に転倒し、車の前輪が自転車の前輪に乗り上げた。救急車で大坂整形外科に搬送されたが、両手の擦過、左膝の擦過と軽い打撲であった。
- ③6月26日(木)午後6時頃 小学3年生男子
見通しの悪い四差路で、自転車で交差点に差し掛かったおり、乗用車(時速50km以上)にはねられ5m程とばされ、田んぼに転落した。日赤病院へ救急車で搬送された。ヘルメットは着用していなかった。骨、頭等に異常はなかった。
- ④7月13日(日)午後1時30分頃 小学5年生男子
ショッピングセンターから商店街へ通じる道近くの交差点で、一旦停止しないまま侵入し、自動車の右前方と自転車の前輪が接触し転倒。右頭部を路面にぶつけた。ヘルメット着用。右側頭部に擦過傷、右膝に外傷を負った。膝は数針の縫合。



努力のつぼ

人はみな何かを始めようとか、今までできなかったことをやろうと思った時に、神様から「努力のつぼ」をもらうのだそうです。これは、どんな人もみんなもらうそうです。そのつぼは、いろいろな大きさがあって人によって違います。みんながこのつぼの中に一生懸命「努力」の水を入れていくと、それが少しずつたまって、いつか「努力」の水があふれる時がきます。この水があふれるとき、そのことができるようになります。自転車が乗れるようになったときも、逆上がりができるようになったときも、25m泳げるようになったときもこの努力のつぼに努力の水をためてきたのです。つまり、休まずにつぼの中に努力を入れていけば、いつか必ずできる時がくるのです。

しかし、みなさんの中には、自分はこんなに頑張っているのに、なぜ結果がでないのかと思う時があるでしょう。それは、努力のつぼの大きさがわからないし、どこまでたまったか見えないので、あとどれだけががんばればよいのかわからないからです。

100回叩けば突破できる壁があっても、99回であきらめてしまう人がいる。あと1回叩けば突破できるのにやめてしまう。とにかくできるまで根気強く努力を続けることが大切なことなのです。



心のコップ

上の「努力のつぼ」の話とよく似ているのが「心のコップ」です。心にはコップがあり、その中に日々いろいろなものをためながら人として成長しているのです。しかし、この心のコップが倒れていたら、どんなによい経験や学習をしても心にたまっていきません。人としての成長が停滞してしまいます。この心の中にある「コップ」は、見えなと思われがちですが、実は生活の様子から傾いているとか、倒れているとか見えるのです。服装が乱れていたり、靴が揃っていないなかったり、かかとを踏みつけていたり、言葉遣いが悪かったりする人がそうです。生活面は怒られるからちゃんとするのではなく、何事もうまくいくように、そして成長するようにきちんとするのです。みなさんも自分の生活を見つめ直してください。私が今、気になっている人は、自転車のヘルメットがひっくり返っている人です。心のコップは傾いていませんか。きちんと立てましょう。



連絡

体育大会の練習期間中は、水筒を持ってきてもかまいません。ただし、中身は水かお茶でお願いします。

